

8月6日（火）



東海大学菅生高等学校 ○86-41● 都立東大和高校 BLAZINGRAYZ

相手校は、ビッグマンが多く体つきが良い選手がたくさんいました。ゴール下でビッグマンがシュートを外しても何度もリバウンドを取られ点を入れられてしまいました。ゴール下で潰しても成功率の高いスリーポイントを決められてしまいました。スティールがとてもうまく、どんな場面でもボールを取られてしまいました。プレッシャーが強くまともに攻められないことが多かったです。東大和がドライブを仕掛けて潰されることが多かったです。ディフェンスのヘルプが多く一気に東大和が潰されることがありました。オフェンスの展開が速く1対3であっても点を決められるようなことが多かったです。ゴール下ではファールをされながらもしっかりと決め切っていました。ディフェンス面、オフェンス面の両面で東大和が学ぶことは多かったです。

本校は、相手のディフェンスに翻弄されボールをハーフラインまで運ぶことに苦戦しました。普段決められるシュートが決められないことが多く、オフェンスでもディフェンスでもリバウンドが取れていなかったです。ボールマンとの距離が長く、スリーポイントを決められることが多かったです。相手のゴール下の合わせに対応できないことが多かったです。